

%company%

%free1%

%free2%

%name_sama%

◆中小企業経営者列伝、第15弾。4回シリーズ

不良のリーダーのやんちゃ社長が一念発起で起業
様々な試練を乗り越え
社会人向けビジネススクールでMBAも取得

5次下請けから這い上がりMBAも取得

男なら、

死ぬ時には生まれた時よりも世の中を良くして逝こうじゃないか。

ラックス建設株式会社 代表取締役 山田 哲矢氏

【済】第1回 立身出世の夢——借家育ちの少年が見た未来

◆第2回 19歳で人生を企画せよ——夢と軍資金500万円

◆第3回 不渡り手形と転落——そしてV字回復へ

◆第4回 フロービジネスからストックビジネスへ——未来への布石

~~~~~  
第2回 19歳で人生を企画せよ——夢と軍資金500万円

【目次】

■19歳で人生を企画せよ

■もっと稼がなければ

■「お前、山田だろ？」

■ついに起業へ

■19歳で人生を企画せよ

19歳の青年は、東京の片隅で未来を見つめていた。

工事現場の監督として汗を流しながら、心の中では違う景色を思い描いていた。成功したい。成り上がりたい。ただの作業員では終わらないと、強く、強く思っていた。

東京の神楽坂の寮に戻ると、彼は手にした一冊の本を開いた。ナポレオン・ヒルの『成功哲学』。ページをめくるたび、全身に電流が走るような衝撃を受けた。まるで、この本が自分に語りかけているかのようだった。

「人生は計画次第で変えられる」

その一文が脳裏に焼き付き、彼は決意する。

「俺は成功する。自分の会社を持つんだ。そのために、軍資金 500 万円を貯める！」

彼は、紙とペンを手に取り、13 の条件をリストアップした。小目標、中目標、大目標。すべてに期限を入れた。それは、ただの夢物語ではない。具体的な計画だった。

### ■もっと稼がなければ

東京での修行を終え、彼は地元広島に戻る。そして、ハローワークの求人欄を必死に探し、高収入の仕事を見つけた。

「日当 1 万 5000 円」

彼の目が輝いた。日本鋼管(現 JFE)の仕事だった。出来上がった鉄鋼製品をクレーンで荷役し、トレーラーで送り出す仕事だ。過去に取得したクレーンや玉掛けの資格が活きる。即座に面接を申し込んだ。

面接会場に着き、順調に面接は進む。採用はほぼ決まりかけていた。

面接官は「クレーンの資格もあるのか、いいね」と満足げだった。「ほう、玉掛もできるのか若いのに」

だが、彼はそのまま額くだけではなかった。

「日当 1 万 7000 円にしてもらえますか？」

静まり返る面接室。

「は？」

面接官の顔に驚きが浮かぶ。

「1万5000円でも、他の仕事より高待遇だろう？なぜそんなに金が必要なんだ？」

一瞬、彼の頭をよぎる。

——「母が病気で……」とでも言おうか？それとも、もっと泣ける話を作るか？

だが、彼は正直に言った。

「僕には夢があります。自分の会社を起こしたいんです。  
そのためには、どうしても500万円が必要なんです。」

その場が再び静まり返る。

面接官は少し考えて、「お前、面白いな」と感心したが、給与アップの交渉は成立しなかった。

### ■「お前、山田だろ？」

背後で扉が開き、作業服姿の職員が現れた。

「お前、山田だろ？」

彼は顔を上げた。

「……はい？」

職員はニヤリと笑い、面接官に言った。

「こいつ、地元の番長だったんですよ。不良仲間のリーダーやってて、俺の弟が世話になったんです。」

面接官の表情が変わる。

「ほう、そうなのか？」

職員は話を続けた。

「お前、仲間を集められるか？」

「仲間？」

「仕事を探しているやつはいないか？お前がまとめろ。」

面接官が口を開く。

「お前に全員分の日当を払う。お前がピンハネすれば、1万5000円以上になるだろ？」

彼の脳裏に電撃が走った。

——そうか、俺が仕事を作る側に回ればいいんだ。

「やります！」

即答だった。

## ■ついに起業へ

1991年1月15日——この日が、彼の会社の創立記念日となった。

彼はすぐに仲間を集め、自ら現場を指揮する側に回った。

雇われる側から、チームを作り、仕事を回す立場へ。

最初はただの作業員だったのに、今は現場の責任者になっている。

「人生は、自分で切り開くものだ——」

19歳で描いた人生設計。その第一歩を踏み出した瞬間だった。

だが、彼の目指す道は、まだまだ先にあった。

1年間、荷役の仕事をするうちに、彼の心の中には新たな想いが芽生えていた。

——「俺が本当にやりたいのは、建設業だ」

荷役業は、彼の夢ではなかった。だが、稼いだ金は着実に貯まっていた。

200万、300万円と蓄えた資金を元手に、彼は新たな決断を下す。

「車と道具を買おう。建設業に参入するんだ。」

そして翌年(21才)、彼は有限会社を設立し、建設業界へと飛び込む。

19歳の時に描いた人生の企画は、着実に現実となり始めていた。

次回、第3回「不渡り手形と転落——そしてV字回復へ」

彼を待ち受ける試練とは？そして、どう立ち向かうのか？

——続く。

編集長 岩下一智 (株) Tiger・HosBiz センター・執行役員  
マーケット・クリエーター(MRC)

いかがでしたでしょうか、お楽しみいただけましたか？

次回は

◆中小企業経営者列伝、第15弾。4回シリーズ

不良のリーダーのやんちゃ社長が一発発起で起業  
様々な試練を乗り越え  
社会人向けビジネススクールでMBAも取得

5次下請けから這い上がりMBAも取得

男なら、  
死ぬ時には生まれた時よりも世の中を良くして逝こうじゃないか。  
ラックス建設株式会社 代表取締役 山田 哲矢氏

の第3回 不渡り手形と転落——そしてV字回復へ  
をお送りする予定です  
お楽しみに！

~~~~~  
■参考図書■Amazon 電子書籍&オンデマンド版

「理念経営道実戦教本」25年3月発売予定・・・予価：3300円（税別）

B5版 約190頁

委細はHP等でご案内いたします。***HPも3月よりリニューアルいたします。

著者：(株)Tigre・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~

本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

heart\_gaia\_gi@hosbiz.net

~~~~~

バックナンバーは下記のURLを確認してください。

https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php

*****社名：変更のご案内*****

第3の創業として、理念経営道を全身全霊をかけて普及の取組んでまいりますとともに持続可能な推進体制にするため「ティグレ社」とジョイントビジネス（JB）を組んで小規模企業・中小企業が「地域・業界No.1」となって、持続できるように

「創客 伴走型経営支援」をすすめてまいります。HPをリニューアルした暁には、更に詳しくご案内させていただきますのでよろしくお願い致します

新社名：(株)Tigre・HosBiz センター

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻をよろしくお願い致します。

次回、第686号・

◆中小企業経営者列伝、第15弾。4回シリーズ

高校中退やんちゃ社長が一念発起  
社会人向けビジネススクールを卒業

5次下請けから這い上がりMBAも取得

男なら、  
死ぬ時には生まれた時よりも世の中を良くして逝こうじゃないか。  
ラックス建設株式会社 代表取締役 山田 哲矢氏

の第3回 不渡り手形と転落——そしてV字回復へ  
を、25・02・21(金)にお届けする予定ですので、

楽しみにしててくださいね。

※なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、  
私たちは「世のため・人のため」になれない。  
とクルー一同尽力しております。

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。  
では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・岩下一智・(株)I&C・HosBiz センタ・執行役員  
マーケット・クリエーター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html>inoue

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

お問い合わせは「<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>」まで

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)Tigre・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html>hiramoto

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu\_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC